

# 施策評価表の見方

## 平成20年度 施策評価表

担当課	〇〇部 〇〇課		評価責任者	〇〇部長 千歳 太郎				
施策CD	123456	施策名	〇〇の充実					
<b>1. 施策の現状分析及び意図</b>								
政策・施策の体系	施策の大綱	・「千歳市新長期総合計画」の体系を記入します。						
	大項目							
	中項目							
① 施策の意図 ※施策の「対象(誰、何)」をどのような状態にしたい(目指す)のかを記載します。	・施策の「対象(誰、何)」をどのような状態にしたい(目指す)のかを記載します。							
② 千歳市民まづくりアンケート調査結果	#N/A			(1)前年に比べ満足度	(2)前年に比べ必要度			
		<p>市民から見てこの施策は、<b>区分Ⅳ</b> の評価です</p>		<p>本年度は記載しません</p> <p>(3)左記結果に対する現状分析</p> <p>・アンケート調査結果に対する分析等を記載します。</p>				
③ 施策の現状と課題	現況	<p>・現在の当該施策をとりまく市民ニーズや環境の変化を記載します。 (市民ニーズなどの増減傾向・その原因、市民や行政等の活動状況、数値による比較等)</p>						
	課題	<p>・当該施策を実施していくうえで、今後解決すべき課題と考えられる点を記載します。</p>						
	(自由記載欄)	<p>-自由記載欄-</p> <p>施策の現状や課題を説明するうえで、市民に分かりやすく、また、参考として必要と考えられるデータ等がある場合に記載します。</p> <p>例) ・参考データ(例:人口推移などの統計数値、増減傾向、全国平均値との比較、成果の内訳) ・経過説明(例:制度改正の経緯、活動経過、整備計画) ・市民団体等の活動実績、各施設の利用者・運営費等の実績一覧 ・システムや体制のイメージ図、用語の説明、特徴ある施設や特産品等の紹介 等</p>						
<b>2. 成果指標の検討・設定、達成状況</b>								
① 成果指標	意図、現況と課題のキーワード		成果指標名		数値化			
	<p>・対象をどのような状態にしたいのかを具体的に表現するキーワードを抽出し、成果指標の候補を検討します。</p>		理想の指標	<p>・施策目的(施策意図)の達成状況を把握するための成果指標を設定します。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> 未計測			
		代替指標		指標の設定				
				<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能				
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。								
② 指標データ	単位	過年度実績		評価年度		目標値	指標の説明	
		H18	H19	H20	H21	H22(最終値)		
	目標							<p>・成果指標の考え方や計算式を説明します。</p>
	実績							
達成率	%							
評価視点		評価結果			理由・問題点			
③ 施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移(目標達成は十分に可能である)		施策の達成度	理由・問題点		<p>・施策目標の達成状況は計画どおり進んでいるかの視点から評価し、A~Dの評点を選択します。 また、評価結果の理由や目標達成に向けての問題点を記載します。</p>		
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移(目標達成は可能である)							
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)							
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている(目標達成は難しい)							

**3. 施策を構成する事務事業の評価**

**【種類】事務事業の種類**

- (1.) 自主事業(自主)
- (2.) 施設管理事業(施管)
- (3.) 経常的事務(経常)
- (5.) ハード事業(ハード)

**【必要性】事務事業の必要性**

- (I) 市が保障する市民生活の最低水準に関わるもの
- (II) Iを超えるサービスで市民ニーズが大きいと考えられるもの
- (III) Iを超えるサービスで市民ニーズが小さいと考えられるもの

**【妥当性】市の関与の妥当性**

- (i) 市が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
- (ii) 実施主体は企業や市民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事
- (iii) 企業や市民団体等による実施が妥当な事業

**① 事務事業評価結果**

事業番号	事務事業名	種類	他課の事業	成果指標	評価年度(H20)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(直接経費・人件費)(千円)		施策への貢献度 (高い) <普通> <低い>
					目標	実績					単位	H19実績(直接経費・人件費)	
1	△△事業	自主		△△利用者数	150		〇〇〇などを行う。	II	I	2.見直して継続	854	231	高い
					123						847	231	
2	□□業務	経常		□□件数	60		〇〇〇の適正な処理を行う。	-	-	1.現状のまま継続	987	462	高い
					58						991	462	
											1,000	462	

**事務事業評価結果**

・ 施策を構成する事務事業を事務事業評価表より、事務事業名、事務事業の種類、他課の事業(所管課の確認)、成果指標(本来の指標・代替指標)、評価年度の目標値、実績値、単位、事業内容、必要性、市の関与の妥当性、評価結果、事業費(人件費込)を転記します。  
 ・ ハード事業は、事業名、種類、他課の事業、事業内容を記載します。

**施策への貢献度(絶対評価)**

・ 各事務事業が施策の目標達成の手段として、どの程度貢献しているかの視点から、「高い・普通・低い」を選択します。

	年度別施策全体の事業費合計(千円)	直接経費(千円)	人件費(千円)
H19事業費	2,534	1,841	693
H20事業費	2,531	1,838	693
H21予算	2,553	1,860	693

**② H21に実施した新規事務事業**

実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H21予算(千円)
1				
2				
3				

・ 平成21年度に新規で実施した事務事業の実施主体、事業内容等を記載します。

評価視点	評価結果	理由・問題点
③ 事業構成の妥当性 (手段は妥当か?)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	<p>・ 施策の目標を達成するために、手段として実施している事務事業構成は妥当かの視点から評価し、A~Dの評点を選択します。                      また、評価結果の理由や事業構成(手段)の問題点、見直し内容を記載します。</p>
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成ではない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	

**B**

**4. 今後の方向性**

① 総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 部次長評価	事業の方向性	事業番号				平成22年度以降のコストの方向性	
		A	B	C	D	拡大	維持
<p>・ 総合的な評価結果を踏まえ、施策の今後の展開を具体的に記載します。                      また、その内容を反映させた事務事業(自主事業)の優先度結果を説明します。</p>	<p>優先度 A~D (自主事業)</p>	1					

**② 2次評価  
(評価委員会)**

・ 評価委員会(座長:副市長)において必要と認めた一部の施策を評価します。

**事業の方向性 優先度(相対評価)**

・ 施策目標を達成するためにはどの事業を優先すべきかの視点から、施策を構成する事務事業(自主事業)を対象に相対評価し、優先順位付けをします。  
 その際には、A:B:C:D=1:1:1:1となるように設定します。

**平成22年度以降のコストの方向性**

・ 今後、施策を実施するにあたって投入するコストの規模をどうするか視点から、「拡大、維持、縮小」を選択します。